

自由民主党再要望項目一覧

平成29年度当初分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 さじアストロパーク等と連携した「星取県」ブランド化の推進について</p> <p>本県が誇る日本一きれいで、手に取れそうなほど星が近い「星取県」の情報発信に当たっては、国内有数の天体望遠鏡やプラネタリウム、望遠鏡付き星のコテージを備えたさじアストロパークをはじめ、大山や砂丘なども連携し、美しい星空を活かした体験型観光を促進し、「星取県」のブランド化に努めること。</p>	<p>さじアストロパークは設備の整った星空観察スポットであり、星取県の取り組みの中核的な施設としての活用を想定している。「大山開山1300年祭」を控え、大山や鳥取砂丘なども含め県内各地の星空観察スポットを活かした星取県ブランドの取り組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業 22,924千円
<p>2 サイクリングを活用した台湾発の旅行商品造成について</p> <p>サイクルツーリズムの盛んな台湾からの海外誘客に向けて、他県空港からの入国者の二次交通など、具体的な行程を想定したきめ細かな環境整備を図ることにより、催行実績のある台湾のジャイアント旅行社に実効性のある働きかけを行い、サイクリングを活用した海外誘客に向けた新たな旅行商品造成の実現に努めること。</p>	<p>台湾から本県へのサイクリングツアーについては、持ち込み自転車の保安検査等にも慣れている近隣空港の活用など、ツアー客の利便性を考慮した行程の提案とともに、空港から本県まで自転車を運搬する自転車運搬用車両の借上げや案内ガイドの随行に係る経費に対する本県の助成制度の紹介など、催行実績のあるジャイアント旅行社にしっかりと働きかけを行い、実際の商品造成の実現及び誘客につながるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストの聖地鳥取県整備事業（サイクルツーリズム推進事業） 29,500千円 ・外国人観光客送客促進事業 42,920千円
<p>3 過剰な語呂合わせを用いた事業名について</p> <p>来年度の主要事業の中で「とっとり年」「えんトリー」など語呂合わせを用いた事業名が散見される。注意を引いたり、強烈な印象を与えるということもあるかもしれないが、奇をてらいすぎて県民が一見して理解しづらい事業名もあるため、語呂合わせなどわかりにくい表現の過剰な使用は控えること。</p>	<p>鳥取県のPR等を目的として、一部の事業名に語呂合わせ等の表現を使用しているが、県民にわかりにくい表現となっていないかどうか改めて点検し、必要に応じて表現を改めることとした。</p>
<p>4 米子駅前広場の全体構想の早期策定について</p> <p>平成30年度に開催される大山開山1300年祭を控え、県西部の玄関口である米子駅前広場において、観光バスの駐停車、送迎車の一時停止、地下駐車場とのアクセス向上など、駅利用者の目線にあった利便性の向上を図るため、駅前広場の環境整備に向けた全体構想の早期策定に努めること。</p>	<p>米子駅前広場については、県西部の玄関口であり交通結節点として重要な役割を担っていると認識している。</p> <p>駅利用者の利便性向上や駅周辺のにぎわい創出の観点から、駅北広場の環境整備のあり方について新年度以降、米子市と検討していきたい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>5 鳥取県支え愛交通安全条例に基づくヘルメット購入補助の拡充について</p> <p>子どもたちの交通安全に向けたヘルメット着用の早期普及とヘルメットの耐用年数が概ね3年程度ということを勘案し、高校生を対象に含めるなど、ヘルメット購入補助対象を拡充すること。</p>	<p>中・高校生の自転車利用時の乗車用ヘルメット着用を促進するため、ヘルメット購入補助事業の対象を高校生まで拡充するとともに、補助対象上限額を3,000円/人(県負担額1,500円/人)に引き上げることとした。</p> <p>・支え愛とっとり交通安全総合対策事業 (うち中・高校生自転車乗車用ヘルメット購入補助) 15,000千円</p>